



一九九一年九月三日第三種郵便物承認毎月(一・二・三・四・五・六・七・八)日発行

〈サロン・あべの〉9月の出会い

DVD鑑賞会

「阪急電車Ⅱ片道15分の軌跡Ⅱ」

平成24年9月15日(土) 〈サ

ロン・あべの〉9月の出会いは、性

育徳コミュニティセンターに

翔子は2人にある条件を突きつ

において、「阪急電車Ⅱ片道15分

ける。

の軌跡Ⅱ」のDVD鑑賞会です。

萩原時江65才、逆瀬川駅徒歩10分：嫁の家にいき、孫の亜美と散歩する。亜美は犬がほしい。

阪急電鉄今津線宝塚駅と西宮

門田悦子18才高校生、甲東園

北口駅間全8駅片道15分の身近な電車内で、偶然に出会う人間

駅徒歩20分：教室で進路指導志望校厳しい。

模様の物語です。

森岡ミサ21才大学生、逆瀬川

西宮北口―門戸厄神―甲東園―

駅15分：彼氏カツヤと付き合っている。別々に住んでいる。2

―宝塚

人のケンカは絶えない。出会った頃はかっこよかった。

・登場人物の紹介

伊藤康江32才主婦、西宮北口

高瀬翔子32才OL、西宮北口在

駅徒歩13分：夫と息子の3人暮らし。PTA仲間から高級ランチのお誘いの電話。本当は気が

住：会社の同僚と付き合っていたが別れを告げられ、後輩の女

進まない。

小坂圭一19才大学生、甲東園

駅徒歩20分：ヘッドホンで音楽を聴く。軍隊ファン。食堂で周りから変わっていると言われている。

権田原美帆19才大学生、甲東園

駅徒歩20分：草木に興味あり。名前にコンプレックス。

少女8才、小林駅徒歩30秒：学校帰り何かに悩んでいる。

・ストーリー往路10分

宝塚駅から時江と孫の亜美が

電車に乗る。一緒にPTAの間が慌ただしく電車に乗り騒いでいる。その中に康江もいる。翔子が2人に出した条件は自分

宝塚駅から時江と孫の亜美が

電車に乗る。一緒にPTAの間が慌ただしく電車に乗り騒いでいる。その中に康江もいる。

翔子が2人に出した条件は自分



を結婚式に招くこと。翔子は、仕返しにウエディングドレスを着て結婚式に出席した。その姿のまま帰り、逆瀬川駅で電車に乗った。時江と亜美は翔子の横にいた。時江は翔子の事情を察し、横にすわるよう言った。翔子は成行きを話し、涙が止まらない。時江は「気が済んだら会社を辞めなさい。自分のために。」とアドバイス。小林駅で休むよう伝えた。翔子は小林駅で降りた。

時江は犬を飼わない理由は、昔、夫が犬に噛まれた思い出からそう決めていた。

カツヤとミサが口げんか。仁川駅で降りる。時江と亜美も降りる。くだらない男ね。時江は大声に泣いた亜美に「泣くのはいい、自分の意思で止められる女になりなさい。」といった。横で聞いたミサはその言葉が心に残った。一方、小林駅で降りた翔子は、スーパで服を買ったドレスに着替えて捨てた。

仁川駅で座っていたミサの前に、高校生・悦子達が話していた。仁川駅でまた翔子が乗った。甲東園駅に着く。憧れの大学の服を見る。その中には圭一と美帆もいた。窓から自衛隊のヘリコプターが見えた。そのことで、圭一と美帆が話すきっかけとなる。

門戸厄神駅を過ぎ、西宮北口駅に到着する。翔子が降りるとき、後ろから走ってきた人があたり、引き出物をこわしてしまふ。悦子達は翔子に声をかける。引き出物は捨ててしまふ。ミサは悦子に背中越しに応援する。圭一と美帆は駅の階段で紹介しあふ。8才の少女は帰り道「誰か助けて。」とつぶやく。康江はPTA仲間とケーキを食べに行った。

・復路3月(半年後)

ミサは西宮北口駅から電車に乗る。ミサは元気になっていた。半年の間にミサは、カツヤの暴力に耐えきれず、ミサの親友のマユミとその兄が同席して別れ話をして決着をつけていた。

PTAの仲間は電車に乗り、相変わらず騒いでいる。カバンで場所取りをした。康江もいたが、気分が悪くなり門戸厄神駅でミサの助けで一緒に降りた。葉を飲むのにミサが水を渡す。康江はミサに話をして気持ちになる。家に帰った。

悦子も電車に乗っていた。この半年間、進路の不安の中、彼へ苛立ちをぶつけ、彼の優しさを知り、甲東園にある志望大学で

圭一と美帆に出会い応援を受け迷いはなくなった。

甲東園駅に着くと圭一と美帆が乗ってきて、悦子と会釈する。美帆は窓から見える土手のワラビを見つける。圭一と美帆、二人の会話で意識の中に相手を思う気持ちに気づく。

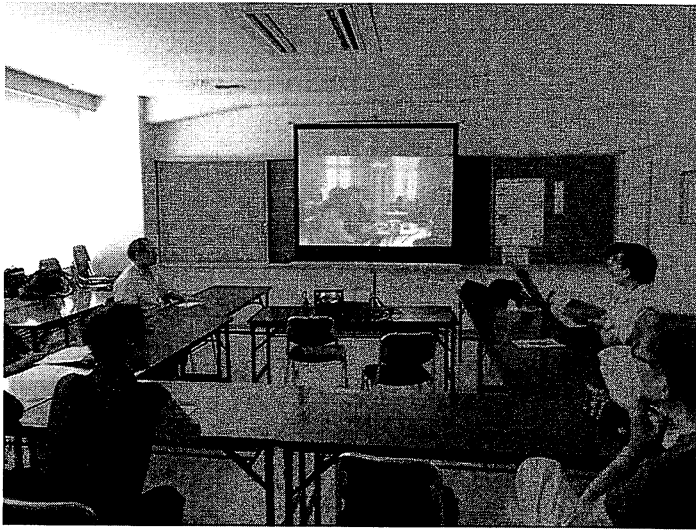
相変わらずPTAの連中は騒がしい。

時江は今、犬を飼っていた。その理由は、この半年間のある日、電車で席を譲ってくれた男性が夫に似ていたからだ。孫の亜美には聞かれてもその理由は言わない。

翔子は小林駅付近に住んでいた。駅で8才の少女が仲間はずれにされていたのを見る。駅のベンチで少女にハンカチを渡し、ちゃんと見てる人がいると、そっと励ました。

逆瀬川駅で時江と亜美が犬を籠に入れ電車に乗る。時江は我慢の限界でPTAの連中を叱りつけた。それを見ていた圭一と美帆はうなずいた。

最後は、小林駅で翔子とミサが偶然に出会う。人生の機微について、また二人で話をする約束をする。この世界はわるくない。



参加者に感想を聞きました。
「映画の構成がよかった。」
「電車のアナウンスに憧れる。」
映画の中で社会の風刺や戒め、励ましの言葉がありました。偶然の出会いの中でおせっかいで温かく支えられている人間愛を感じた（サロン・あべの）9月の出会いでした。

（参加者9名 山村貴司）

美智子のこんな話

岸田美智子

10月1日から
障害者虐待防止法がやっと施行されます！

高齢者や児童に次いで最後に残っていたのが障害者虐待防止法、だったそうです。

特徴としては、第3条に障害者の虐待を全ての国民においてなくすことの宣言「何人も、障害者に対し、虐待してはならない。」と明記されたり、都道府県と市町村に、障害者虐待対応の責任があることを明らかにした。などが上げられます。

今も障害者への虐待は色々なところで起こっているし、これからもずっと続きそうな社会の中でのこの様な宣言は、とても意義があると感じています。

そして、都道府県と市町村への責任が明

記されたことは、大きな力になると思いますが、この責任がどこまで現実的に具体化されるのが、とても気になるところだと思います。本主にひどい虐待を受けている場合は、たちまちどこかに避難できる生活の場が、地域に必要です。

たいいていの障害者の場合は、介助の人手と、医療的な治療も必要な場合が多いですし、部屋にはベットや車イス用トイレなどの設備的な面も必要な方が多いものです。

このような体制が整った生活の場が地域の中で社会資源として、いつでも用意されていることが必要です。このような生活の場を建設する計画は、今のところ聞いたことがないし、今でも地域の中での生活の場は足りていない状況があるので、具体的に行政の責任の取り方が気になるところです。

そして、虐待対応の判断基準のポイントとして、虐待をしている人の自覚は問わないし、障害者本人の自覚は問わないということなので、周りの支援者や関係機関の力がとても大切になってくると思われまます。この虐待防止法で今後一人でも多くの障害者が助かれば良いのですが・・・

若者への感謝

三十年以上も前のこと、私は定期的にホームレスの人たちに食事を配るボランティアをしていた。そして、一人の初老の男性の差し出す腕のなかに温かいおかゆだったかを入れたとき、その人は静かな笑顔でこんなことを言った。

「ああ、若い人にこんなことしてもらって申し訳ないね、ありがたいね」

そのとき、軽く両手を合わされたような気がする。そのとき私は、とても驚くとともに奇妙な感覚におそわれた。私が若いということが、この場において何の意味があるのだろうか。

たとえば、若い女性にお酒を注いでもらったとき、年配の男性が「ああ、申し訳ない」と言うときがある。それは、あえて言えば、次のような気持ちがあるからだろう。すなわち「本来、あなたのような若い女性が相手にすべきは、もっと若い男性だ。にもかかわらず、あなたが私

の相手をしてくださるのは、私への配慮のためだろう」というわけだ。

つまり、そこには一瞬だが、ごくわずかの性的な対話がある。だからこそ「申し訳ない」という言葉が出てくる。言い換えれば、そのとき「若さ」は欲望の対象になつていく。

そんなことを連想してしまつたから、私には非常に不可解な言葉に聞こえてしまつた。なぜ私の「若さ」が、あの人には「ありがたいかつた」のか、どんな意味があつたのか、さっぱり理解できなかった。

そのときの疑問から三十年たち、あの初老の男性の年齢に私自身が近づいた。そして、ようやく「こういうことだつたのではないか」と気づきはじめた。あれは若者への感謝の心だつたのかもしれないと思うのである。

「青二才」とか「まだ若い」とか、若さに対しては軽侮の言葉がよく使われる。一方で、若さを称える言葉は、異性なら若さを欲望の対象とすることを前提としており、同性なら羨望がつきまといつていく。

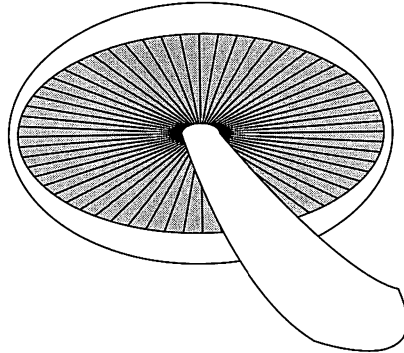
それに対して、若さが感謝の対象となるときそれは若い貴重な時間を分け与えてくれたという気持ちなのではないか。つまり時間の価値が、それがもつ可能性で測られるのだとしたら、若

者の時間は五十代の私の時間よりも貴重である。なぜなら若者の時間は、それ以後の長い人生につながる可能性をもつが、私の時間にはそれが無い。

ホームレスの初老の男性は、若い私と一瞬でも時間を共有したことで、三十年たつても私の心に、わずかではあるが、その存在を残している。そのように未来に伸びている命とかかわることによって自分もまた限りある命を超えて、この世界とつながることができる。

若者たちは、こうして世の中の自分たちよりも早く地上から消えていく人たちに安らぎを与えている。その未熟さを笑つてはいけぬ。欲望や羨望の対象にもすべきではない。彼らこそ死すべき私たちに時間の壁の向こう側に希望を残すことを許してくれる存在である。彼らとの接触があれば、それは自分たちが歴史につながるための綱を投げられたものと考え、感謝して受け取りたいと思う。

(知)



晴れのち晴れ

稲垣 恵雄

■ロンドンオリンピック

今年の「体育の日」は10月8日だが、この日は元々10月10日で、昭和39年に開催された東京オリンピックを記念して制定されたのである。

オリンピックと言えば去る7月27日から17日間にわたってロンドンで熱戦がくり広げられた。このオリンピックには百余ヶ国が参加したが、我が国からも293名の選手が出場してメダル獲得に競い合った。そのおかげで金7、銀14、銅17の合わせて38のメダルをとり、これまでのオリンピックで最も多かったという。

どの選手も活躍していたが、私は体操、柔道、バレーボールなどが今でも鮮やかに

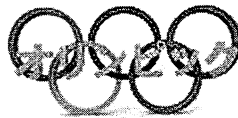
目に浮かんでくる。その中でも特にレスリング女子63キロ級の伊調馨選手の活躍ぶりにすごく感動したのである。

伊調選手は谷亮子選手も実現できなかったオリンピック三連覇を達成し、しかもこれはオリンピックだけでなく、女子の全種目の中でも初の快挙だという。その上に伊

調選手は試合中はずっと足のじん帯損傷で痛み止めを服用していたということを聞き、なおさら心うたれた。テレビで解説者が「伊調選手の髪型に意気込みを感じます」といわれていたが、彼女はいつも

全身全霊で戦っていたからこそ3度も続けて金メダルを獲得したのだ。

このように今回のオリンピックでも沢山の笑顔が咲き、我々を楽しませてくれた。選手のみなさん、本当におめでとうございます。そしてお疲れさまでした。





あやかの

虹のおこうへ！

つつみ あやか

「もう一人の自分」から発する心の叫び

20世紀末に「性別岩(違和)」と激突した時、今までずっと先送りにしてきた自分の心の問題が急に膨張を初め、息苦しく、精神的につらい思いをする様になりました。

そんな訳でパソコンのメモ帳にこんな事書きました。それは、まるで遺言状の様なものでした。

このメモ帳も一時期インターネット上にひっそりと載せておりました。

「1/fのゆらぎの中へ」という名の遺言サイト2002年10月15日から自分の苦しい思いや戸惑いを以下の出だしで書き始めました・・・
今まで、ずっとだまって、悩んできたことを、ここに残しておきます。

もし、私が倒れて、このパソコンを動作させた時、このメモ帳を発見し見ていただいているならば、大きなショックを与えてしまうかもしれません、目をそむけず読んでいただくと嬉

しいです。

私は、小さな頃から性的ないじめを受けました。中学から高校時代に、無理やり裸にされそうにされた事もありました。さらに成人になつてから旅先で同性愛の男からの強姦(?)されてしまったと言うトラウマがあり、その上、私の母親も父親から無理やりの性行為で膝の骨を折ったりした事もあり(それがきっかけで離婚しました。)(「男」と言う動物が嫌に思えてきました・・・)

そんな訳で自分が男性がいやな上、性的に男性から迫られるのもいやと言う、自分も他人も「男嫌い」(ここでは、あくまでも性的な事に限定してです。もちろん男友達はたくさんいます。)(と言う、非常に中途半端な状態にあります。男嫌いプラス、お化粧や女装と言ったフェティッシュなものに興味があり、昔からちよこちよこ女装しております。(私の部屋のクローゼットに色々な女装用品が置いてあります。)

また、昔、こっそり母の化粧品を使ったり、たすにあつたスカートやストッキングをはいたりして女装したこともあります・・・昔、「化粧品いじらなかつた?」とか聞かれた事があり、すっとぼけてましたが、犯人は私です・・・)しかし、自分は「男」である。故に勉強も仕事

もがんばらねばならない・・・親や周りに言われつつ、自分も素直にがんばってきたつもりです。そこそこの大学出て、名前を言えばみんな知っている会社に就職して、そこそこの仕事をこなし・・・周りが期待しているルールをほぼ時刻表通りに進んできましたが、が、唯一できない事が「良い女性と結婚して幸せな家庭を築く」事です・・・

周りの期待に應えるべく、今までも、何人かの女性と見合い等でお付き合いしてきましたが、結婚には至りませんでした。最近も2年以上付き合っていた人がいましたが、後半はお互いしんどくなつてしまつて結局はうまくいきませんでした。肉体関係も1回試みたのですが、ちよつと身体を抱き合っただけ。それ以上、何もできませんでした。彼女から「親戚と同じくらい親しくなつたけど、それ以上の関係にはなれない・・・。」と言われたのが今でも心に残っています。

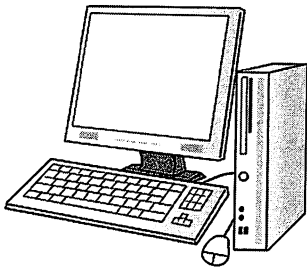
やはり、その様な形式的な結婚相手探して、結局は自分をごまかし相手をだましているだけ。そんな生き方も不毛の様に感じます。ただ、私は、社会的な目的ではなく、何て言ったら良いのか判りませんが、プラトニックな関係で女性と一緒にになりたい。しかし、今の所、そんな

相手はいない。

自分の性的なアイデンティティとは何か、そして今後どのような生活設計をしていけば良いのか？プラトニック的結婚って果たしてあるのか？でも、非婚は、考えたくない。最近、今まで勉強や仕事で先送りしてきた、この問題が自分の心の中で急激に大きくなっていき、不眠になったり、朝の通勤電車の中で倒れたりして、精神的に滅入ってきて、抗うつ剤を飲んでいるあります。ようやく、その悩みを言う機会がありカウンセリングを受けはじめた所です・・・。

性的アイデンティティをこれからどうやって確立していくのか、自分がいったい何なのか？？？ほんと、今の自分がむちゃくちゃ苦しい。

でも、インターネットを通して、あるいは、自分の思いを書き綴っている間にヒントを得ることが出来るかも知れない・・・。それを信じて、サイトを立ち上げた次第です。(つづく)



サロン・あべの毎月の感謝

○カンパ、お菓子、バザー品物、宛名シールのご提供等、ありがとうございます。

眞殿香與女、宮脇信子、その他の方、(敬称略)



お知らせ

<サロン・あべの>11月の出会い

- 内 容：「今時の空の旅～関空とLCC～」
- お客様：中村真典氏（大阪観光大学教授）
- 日 時：11月17日（土）午後1時～4時
- 場 所：育徳コミュニティーセンター、2階・研修室
[大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
TEL06-6621-1901]
- 会 費：なし
- 問合せ先：TEL・fax06-6691-1028
(富田慶子)

*予告

<サロン・あべの>12月の出会い

- 内 容：<サロン・あべの>の年忘れ昼食会
- 日 時：12月 1日（土）午後1時～3時ごろ
- 場 所：未定
- 会 費：未定（2000円～2500円位）
- 問合せ先と申込み先：
TEL06-6691-1028（富田慶子）



11月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

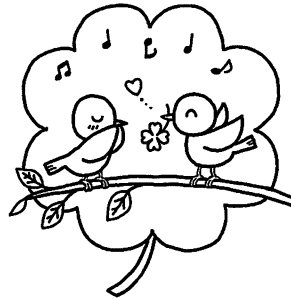
■「サロンいたみ」11月の出会い

日時：11月24日(土)午後2時～3時

内容：秋のワッショイ「秋祭り」

場所：伸幸苑(伊丹市寺町)

問合せ先：安藤れい子TEL072-784-1718



■「サロン淀川」11月の出会い

日時：11月18日(日)12時～16時

内容：「河内音頭のつどい」

河内音頭ボランティア大五連のご指導により
楽しい時間を・・・

場所：「やすらぎ」淀川区社協

大阪市淀川区三国本町2-14-3

問合せ先：淀川区社協TEL06-6394-2900

■「ウイズ東淀川」11月の出会い

日時：11月11日(日)午後1時30分～4時

内容：東日本大震災から1年8ヶ月

～点から線への支援活動を考える～

ゲスト：脇坂博文氏(ソーシャルワーカー、

ボランティアコーディネーター)

場所：NPO法人自由空間クラブ

(東淀川区淡路5-10-7

阪急京都線淡路駅西口より6分)

会費：なし

問合せ先：TEL06-6340-3082(鈴木昭二)

■「サロンにしよど」11月の会いはお休みです。

■「サロンにし」11月の出会い

日時：11月24日(土)11時～15時

内容：「そよかぜまつり～&介護フェア」に参加しよう!!

場所：西区民センター(西区北堀江4-2-7)、

(地下鉄千日前線、つるみ緑地線、長堀駅下車すぐ)

*現地集合・解散。飲食等の模擬店あります。

問合せ先：宮脇淳TEL090-3949-6973

隣りのテレビ

♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪

サンケイホールデビュー25年

奥田真祐美

シャンソンリサイタル

.....
テーマ：「奥田真祐美ジャン・フェラを歌う」

演奏：にしかわまこと&弦楽アンサンブル

日時：11月10日(土)16時開演

(15時30分開場)

場所：サンケイホールブリーゼ

大阪市北区梅田2-4-9ブリーゼタワー7階

入場料：前売り片=6000円(全席指定)

当日券=6500円

問合せ先：奥田真祐美office okuda

TEL・FAX06-6692-8774

♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪

<サロン・あべの>Vol.316 発行：平成24年(2012年)10月20日 定価¥100

編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆

事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>

TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941

印刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F06-6719-8212

ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/ 「サロン・あべの」でも検索できます

一九九一年九月三日第三種郵便物承認毎月(二・三・四・五・六・七・八)日発行